

常陸太田市議会議長 高星 勝幸 様

常陸太田市議会

広報委員会 委員長 菊池 勝美

「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書

1. 日時・開催場所（開催日順）

里美地区：令和8年5月14日（木）午後6時30分から 里美文化センター
 常陸太田地区：令和8年5月15日（金）午後6時30分から 生涯学習センター
 金砂郷地区：令和8年5月19日（火）午後6時30分から 交流センターふじ
 水府地区：令和8年5月20日（水）午後6時30分から 水府総合センター

2. 報告・意見交換会対応議員

全地区	
高星 勝幸（議長） 菊池 勝美（副議長・広報委員長） 深谷 渉（総務委員長） 鴨志田 悟（総務副委員長）	
里美地区	常陸太田地区
宇野 隆子（文教民生委員） 高木 将（文教民生委員） 成井小太郎（産業建設副委員長） 深谷 秀峰（総務委員） 平山 晶邦（総務委員） 小室 信隆（文教民生委員長） 石川 晶大（産業建設委員）	益子 慎哉（産業建設委員） 諏訪 一則（文教民生副委員長） 森山 一政（産業建設委員長） 片根 志雄（文教民生委員） 郡司 哲也（総務委員）
金砂郷地区	水府地区
宇野 隆子（文教民生委員） 高木 将（文教民生委員） 成井小太郎（産業建設副委員長） 深谷 秀峰（総務委員） 小室 信隆（文教民生委員長） 片根 志雄（文教民生委員） 石川 晶大（産業建設委員）	益子 慎哉（産業建設委員） 平山 晶邦（総務委員） 諏訪 一則（文教民生副委員長） 森山 一政（産業建設委員長） 片根 志雄（文教民生委員） 郡司 哲也（総務委員）

3. 参加者数 112名

（常陸太田地区48名・金砂郷地区22名・水府地区21名・里美地区21名）

4. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつのあと、議会報告及び意見交換会を行った。

意見交換会では「地域防災について」をテーマに、資料に基づき説明（総務委員長）を行ったあと、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。

その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

5. 意見交換の内容

意見交換会 テーマ 「地域防災について」

【意見要約】

■防災のために普段から心掛けていること

- ・飲料水や食料、簡易トイレや生活用品、防災用品の備蓄をおこなっている。
- ・農作物の自家栽培など、災害時の食料確保に取り組んでいる。
- ・非常持出品を準備し、定期的に点検している。
- ・ガソリンを常に満タンに近い状態に保つよう心掛けている。
- ・石油ストーブ、カセットコンロ、発電機などを備えている。
- ・ハザードマップの確認や避難経路の把握をおこなっている。
- ・地域の防災訓練や防災講座へ参加し、防災知識の習得に努めている。
- ・市道を覆っている木や倒木に対し、自治会や地域住民と協力し対応している。
- ・災害発生時には行政任せにせず、自ら身を守るための準備が重要との意見があった。

■防災について不安に思っていること

（1）避難・情報伝達について

- ・災害発生時の避難場所や避難経路（道路の状況等）が安全なのか不安で、避難所が開設されても行くべきなのか判断ができない。
- ・ハザードマップの情報が細かくて、内容が分かりにくい。
- ・家族に高齢者がいるため、避難や災害対策に不安。
- ・要支援者と支援協力者が高齢者同士になってしまっていることの不安。

（2）備蓄・生活支援について

- ・準備した生活用品（発電機等）の使い方について不安。

（3）河川・土砂災害について

- ・河川の氾濫や増水への不安。
- ・河川沿いの住宅や低地の浸水被害を心配する声があった。
- ・土砂災害や崖崩れの危険箇所への対策を求める意見があった。

（4）地域防災体制について

- ・自主防災組織や自治会の担い手不足、高齢化への不安。

(5) インフラ・施設について

- ・通信手段が無い（携帯電話や固定電話が不通）時の救急要請についての不安。
- ・避難所のトイレの状況（和式のみ、位置や衛生）や支援物資の確保を心配する声があった。
- ・避難所の設備（エレベーター等）や環境が十分であるか不安。
- ・道路や橋梁などのインフラの安全性・維持管理を求める声があった。

■「個人・地域でできること」と「行政にしてほしいこと」

【個人・地域でできること】

- ・地域住民同士の日頃からのコミュニケーションを大切にし、助け合える関係づくりを進める。
- ・避難先を避難所だけにせず、親戚等に頼ることも検討。
- ・自主防災組織の活動を活性化し、地域の実情に応じた防災体制づくりに取り組む。
- ・行政任せにせず、自ら備え、地域全体で防災意識の向上を図る。

【行政にしてほしいこと】

(1) 防災意識の向上・自主防災組織・地域コミュニティの強化

- ・防災訓練や防災講座を充実させ、防災意識の向上を図ってほしい。
- ・防災士や自主防災組織のリーダーなど、地域防災を担う人材育成を進めてほしい。
- ・地区によっては高齢化により役割分担ができないところもあるので、地域コミュニティに広げるなど、地域で支えられる体制づくりが必要である。
- ・自治会や地域コミュニティ、消防団などの連携を強化し、日頃から関係づくりを進めるべきである。
- ・地域ごとの実情（高齢化により役割分担が難しい等）に応じた防災体制や支援体制の構築が求められる。

(2) 情報伝達・連絡体制について

- ・防災無線の活用（放送できる地区を細分化し、その地域にあった内容を）。
- ・じょうづるさんナビで災害通知を受信しているが、LINE 等の避難通知も含め確実に情報が伝わるようにしてほしい。
- ・夜間や停電時でも情報共有できる体制づくりが必要である。

(3) 避難所・防災施設等について

- ・各地域の状況を把握し、環境改善や備蓄品の充実を図ってほしい。
- ・防災倉庫や資機材の配置場所を見直し、使いやすい体制を整備してほしい。
- ・AED の設置場所について検討してほしい（夜間閉鎖となる場所には置かない）。
- ・避難所の備品の軽量化
- ・備えてある防災用品の持ち出しについて、市職員だけでなく、地域の住民も持ち出せるようにしてほしい。

(4) 行政への要望

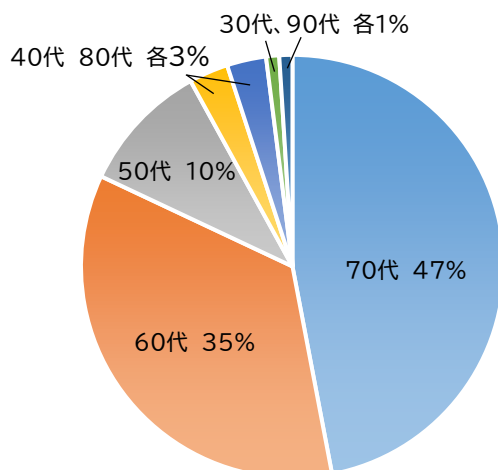
- ・避難所へ行く道路が通行困難となる事態も考えられるため、隣接する市に避難できる体制を整えてほしい。
- ・地域ごとの課題や特性を把握し、それぞれに応じた防災対策を講じてほしい。

6. 意見交換の様子

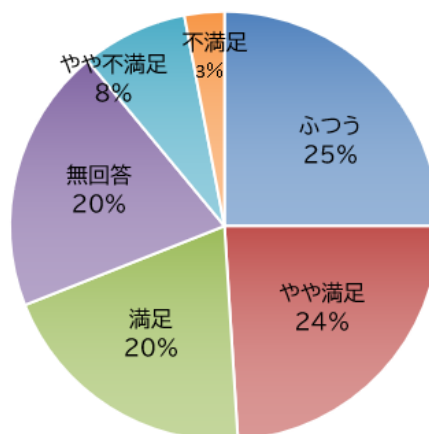


7. 参加者アンケート集計結果

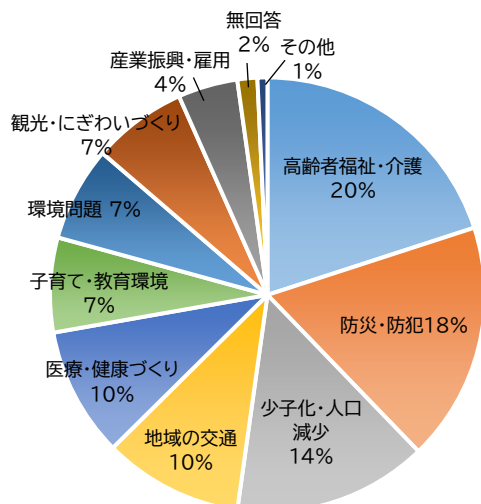
① 参加者の年代



② 今回の議会報告意見交換会について



③ 関心があるテーマ



④ ご意見等（抜粋）

- 今後も意見交換会を継続し、市民の声を広く、多く取り上げ市政運営に活かしてほしいと思います。
- 問題の解決に向けて期待します。各地域の問題など聞けて良かった。
- 意見交換会の時間、もう少し長い方が良いのでは。
- 皆さんの深い御意見を伺い、改めて考える必要性を感じました。今に則した行政を期待します。
- 市民の代表である議員のご尽力が良く伝わりました。
- 参加者が少ない。関心がなさすぎる。残念です。
- 大切なテーマだったが、内容が限られていたので、少々物足りなさがあった。